

## 第6回 宇部市常盤通りウォークابل推進協議会 ～会議録～

日時	令和5年3月27日（月）16:00～17:00	
場所	宇部市役所3階 防災情報センター	
出席者	協議会	市長（会長）、榊原委員、宋委員、櫛部委員（宮崎委員の代理）、熊谷委員、中尾委員（山田委員の代理）、大久保委員（大下委員の代理）、江嶋委員、末次委員（中野委員の代理） ※岡松委員、野嶋委員欠席
	事務局（国）	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 尾畑総括保全対策官 道路管理第一課：橋谷課長、中井建設専門官 交通対策課：三浦課長、古瀨係長
	事務局（市）	都市政策部：村上部長、磯中次長、福田次長 中心市街地活性化推進課：渡辺課長、野村副課長、綿貫係長、安部係長、野崎、光木

これまでの協議会の振り返り

### 議事概要

#### 議題1「管理運営体制（案）について」

審議の結果、事務局から提案があった手法により、中間組織立ち上げに向けた検討を行うこととした。

意見等については、以下のとおりである。

- ・道路使用許可申請は利用者が直接警察に提出する必要がある。中間組織立ち上げ後も利用者が直接提出すると考えて良いか。  
→【事務局】各種申請については、中間組織が利用者の代わりに行うことを考えているが、道路使用許可申請は利用者から直接提出となっているため、中間組織は資料作成のサポートを行う想定である。
- ・都市再生推進法人とは具体的に組織があるか。  
→【事務局】現在、宇部市が指定している都市再生推進法人はまちづくり会社「株にぎわい宇部」である。

#### 議題2「情報発信の手法（案）について」

審議の結果、今回の案で進めることとした。

意見等については、以下のとおりである。

【会長】ウォークابل化という言葉はまだまだ浸透しておらず、何かが変わろうとしているとい

うことしか知られていないという言葉が市民からいただくことが多々ある。地元自治会や商店街の皆様から、情報が来ていない、イベントの時に言ってもらえたら一緒に出来たのという言葉も良く聞く。連携するためにはどのような手法が良いか。学校にチラシを配るという方法も行っているが、地域の色々な世代に情報を届けなければならない。情報が多様化しており、伝えることは出来ても、伝わる事が出来ていない。地元自治会や商店街の皆様からもご意見をいただきたい。

→実際に何をやっているかが分かっていない。市のホームページを見る人は少ない。神原地区のホームページを作っているので、リンクすると良い。子どもがまちに出れば、親も付いてくる。子どもをまちに出す方法として、学校にチラシを配るのは良い方法である。特に神原ふれあいセンターは利用者が多いのでチラシを置くと更に良い。

→まちが動いていかないと、中々実感できない。店主は今まで言っていたことが思うように進んでいないので、諦めモードにあり、半信半疑の状況と思う。私から前向きな話をしても、素直に受け止めてもらえない。スクラップ&ビルドが起こっているが、井筒屋や新庁舎2期棟が建ち上がっていくことを目の当たりにすることによって、徐々にみんなの意識も変わっていくのではと期待している。

→当会も今年からInstagramを採用している。Instagramは情報をキャッチしやすい。Instagramの利用は年代によるが、手法の一つとしては良いと思う。Instagramを行っていることを市民にいかん知ってもらおうかが今後の課題になると思う。

→若者目線を取り入れてInstagramを発信していきたいと思う。井筒屋や2期棟も併せ、魅力的な情報発信を行っていきたい。

→当会は小売がかなり少なくなっている。チラシを会には全て配布したが、お客様には通じていない。市長のYouTubeチャンネルは凄く面白い。市長からウォークブル化の話をしていただくと観る人は多いと思う。

**【会長】** YouTubeチャンネルも活用していく。市役所の旧庁舎解体を行っているが、壊し始めると反応が出てきている。旧井筒屋も足場が組まれて、いよいよ解体していく。今から生まれ変わるといふことで、力を入れていきたい。地元自治会、商店街の方々と一緒にやっていきたい。

→若い人たちは文字よりイメージの方が伝わりやすい。

→今後色々な事業が具体化する中で、皆さんから目に見えるものが出てくるはずなので、それが何よりの情報発信になると思う。中心市街地に来てもらわないと見れない。まずは来てもらって、変わっていく姿を見てもらえればポジティブな気持ちを持っていただけるのではないかな。

→高校生がまちなかでイベントを起こすこともあるので、若い力を利用することが必要である。そういった空間づくりを商店街がバックアップする体制も出来つつある。情報を広める手段にもなるし、若者が楽しかったと思えるようにすることが大事である。

→渋谷など開発を進めているところは、工事現場のフェンスを活用してアート作品にしている。工事現場のフェンスは、ウォークブルを発信するツールとして良いと思う。

**【会長】** 旧井筒屋の工事現場のフェンスでも検討できそうである。ウォークブルの模型も出来たので、宇部まつりや新川市まつりでウォークブルについて知ってもらおうことが必要である。

### 議題3「今後のスケジュール（案）について」

審議の結果、今回の案で進めることとした。

意見等については、以下のとおりである。

- ・駐車場の話もあるので、常盤通りのウォークブル化と旧井筒屋跡地の計画もある程度一緒に考えてほしい。説明に旧井筒屋跡地の計画の事も少し入れてほしい。  
→【事務局】旧井筒屋や新庁舎2期棟など関連する事業についても今後説明する。旧井筒屋跡地の計画の状況としては、令和5年6月に事業者が決定する予定である。議会承認後契約を行い、約1年かけて設計を行い、その後建設に着手する。令和8年度に竣工予定である。
- 【会長】駐車場について、旧井筒屋跡地の計画だけでなく、ウォークブルエリア全体でどの位駐車場が必要で、民間駐車場の活用も含めてどの位駐車場を用意できると見込んでいるか説明してほしい。  
→【事務局】駐車場の台数については、内部で検討を進めているところである。旧井筒屋跡地に関しては、公共機能だけで120台は確保しようと思っている。民間提案にもよるが、合計で120台+αの台数を確保する予定である。常盤通りの副道に残る駐車帯もある。社会実験時は、周辺の金融機関の駐車場を営業時間外に無料開放していただき、平常時に比べて稼働率が高くなった。それらを踏まえて、必要な台数を見極めていきたい。
- ・高齢者でも止めやすい駐車場を絶対に頭に入れてほしい。市役所の立体駐車場は、止めやすいとは言えない状況である。  
→【会長】市役所の平面駐車場の整備は、前倒しして令和5年度から着手する。最終的にウォークブルエリアで何台駐車場が用意できるかを示していかないといけない。次回から駐車場が現在これだけあり、これだけ増やしていく必要があるというところを事務局で整えてほしい。
- ・山口市もウォークブル化の取組を行っており、駐車場の需要推計を行っている。ある程度駐車場を集約して、そこから歩いてもらうという計画も作っている。市民に納得してもらうには需要推計も必要になると思うが、宇部市の状況を教えてほしい。  
→【事務局】宇部市では需要推計というところまでは、今すぐには難しい状況である。中心市街地の既存の駐車場がどの位置にどの程度キャパシティがあって、今後どのような利用形態を目指していくかを整理し、協議会でも示して、ご意見をお聞きしたいと考えている。
- ・山口市では個人事業主の専用駐車場を時間貸しの駐車場と一緒に集約して土地の有効活用をしている。駐車場は必要だが、ある意味利益を生まない土地なので、個人事業主の専用駐車場が集約出来れば、元の駐車場を別の用途で使うことができ、土地の高度利用が出来るかもしれない。  
【会長】皆様との共有事項というところで、常盤通りの樹木は緑化活動など宇部市の歴史と関係している部分がある。市民の皆様も思い入れがある樹木があると思う。自治会の皆様はこの樹木はこの活動で植えたなどの情報があれば教えてほしい。

### 社会実験結果の報告